

1 日時

事前合宿 : 2019年10月05日(土)～10月09日(水)

INAS Global Games : 2019年10月10日(木)～10月20日(日)

2 場所

事前合宿 : アルビンスポーツパーク

INAS Global Games : オーストラリア ブリスベン近郊

3 事前合宿について

事前合宿は千葉県長生郡にてサポートコーチの方々に協力を頂き、トレーニングを行った。トレーニングについては、パデル&フットサル 晴れのち晴れ、アルビンスポーツパーク内体育館と全日室内で充実したトレーニングを実施出来た。またブリスベンへ行く前には、大会に向けた選手間のより一層の一体感促進の為、朝の散歩や体操、食事の時間、宿舎でのミーティング時にコミュニケーションを促し、出発時には全員が、大会に向けてモチベーションを上げる環境を作る事が出来た。



毎日欠かさず散歩

4 ブリスベンについて

ブリスベンは、オーストラリア連邦クイーンズランド州南東部(サウス・イースト・クイーンズランド地域)に位置する州都で、面積4673.2平方キロメートル、人口約223万8千人と、シドニー、メルボルンに次ぐオーストラリア第三の都市であり、オセアニア有数の世界都市である。この時期は日本と季節は逆の初春となり、非常に過ごしやすい季節で体調管理のしやすい気候であった。宿泊場所は、ビジネス街に位置し、有名なクイーンズストリートモール等を有し、買い物にも困らず基本的には不自由の無い生活を送る事が出来た。



ブリスベンは自然と近代的な建物が融合した街



ランニングコースにも困らなかった

5 ブリスベンまでの移手段・時間

成田空港（日本時刻19時20分出発）から、シドニー国際空港で乗り継ぎ、ブリスベン空港に向かった。ブリスベン空港から、リムジンバスで片道凡そ1時間かけてブリスベンのホテルに到着（現地時刻昼11時頃に到着）。出国してから約12時間程（時差2時間）かけてのブリスベン入りとなった。

6 ホテルでの生活

Mercure Hotel Brisbane に宿泊した。当ホテルは2人部屋であり、選手も終始リラックスできているように感じられた。ホテルにはFREE Wi-Fi が完備されており、機内モードにした上で、使用していた。（一部選手はWi-Fi を持参。） 諸連絡に関しても、口頭だけではなく、グループLine を作ることで、念入りに確認することが出来た。当初懸念していた洗濯については、国内から脱水機を持参し備えたが、ホテル内に洗濯機、脱水機が備え付けてあり、選手達は自主的に洗濯する姿勢が見られた。また、ウェアの管理は入念に実施し、返却時にはサイズ、枚数を自ら監督コーチの前で確認し、「自立、自律」を意識した行動が出来ていた。但し、一部選手がショートパンツを紛失し、スタッフ、選手全員でくまなく探したが、見つける事が出来なかった。

ホテルの食事は主に朝食、夕食であったが、バイキング形式で食事のメニューも肉、魚、野菜、米とバランス良く食事を摂る事が出来た。但し、昼食は毎日 Subway のサンドイッチとなり、選手間でも飽きと栄養の偏りがあり、昼食後の試合に向けては十分な栄養補給は困難であったが、コンビニやスーパーでバナナやゼリー等の捕食を準備し試合に向けて体調管理に努められた。

早朝の散歩については、快適な気温であり身体を起こす為に、ブリスベンの街並みを楽しみながら実施出来た。



ホテルでの食事は副菜が4～5種類のバイキング



ホテルは清潔でセキュリティーも○

7 外出

遠征中の主な観光は大会後のブリスベン市街の観光であり、選手の希望で二手に分かれて、観光した。コアラやカンガルーとの触れ合いチームと、人工ビーチ散策チームで思い思いの時間を過ごし、日本では経験出来ない時間を過ごせた事は選手達にとって貴重な経験になったと思われる。また、買い物につ

いては、選手達に集合時間だけを伝え自主的に行動させたが、時間を遵守し、決められた額面で買い物を楽しめていた。全体的に異文化に触れ、海外での生活を肌身で感じる事が出来た為、大会と共に海外で充実した時間を過ごせた。

8 全体を通して

今回オフザピッチで特に課題に感じたのが、

- ① エレベータで荷物を持ち忘れスタッフ、一部選手が対応
- ② ビブスの枚数が足りないとチームで探しているのに対し自分で持っているのにも関わらず連絡しない
- ③ チームから借りているショートパンツの紛失
- ④ 序盤洗濯を一部選手に任せていた（後にチームで話し合い、分担を決めて自主的に実施した）

である。選手の中でも「自立、自律」の意識にばらつきがあり、「やれることをやらない、無責任で他人任せな行動」は、今後の代表活動での課題となった。

8 強化遠征におけるオフザピッチ面での成果と課題

【成果】

- 異文化コミュニケーション（積極的な現地の人達とのコミュニケーション）
- 選手・スタッフ間のコミュニケーション
（悪い事を指摘し、困った時にはスタッフへ相談出来る関係）
- 物品の管理に対するルール決めと実行（ウェア、パスポート、ルームキー等）

【課題】

- やれることをやらない、無責任で他人任せな行動



オフザピッチの姿勢がピッチにも表れる



現地に駆け付けてくれた保護者サポーター